



めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

消防団は地域を守るヒーローです



消防活動には消火活動を行う人員だけでなく、交通整理、避難誘導、再燃防止のための見回りなど、想像以上に多くの人手が必要です。また、全国的に発生している大地震や集中豪雨の被害を思い浮かべてください。大規模災害発生時には、さらに多くの人手が必要になります。

昨年発生した熊本地震では、地元の消防団員が地震発生直後から救助活動に当たり、多くの方が消防団員の手によって救出されています。そのほかにも、火災発生時における消火活動はもとより、住民の避難誘導や危険箇所の巡視・確認、土砂崩落現場での除去作業など、多岐にわたり活躍しています。

消防団は、地域の住民によって構成された組織であり、付近の状況や住民の家族構成など、それぞれの地域の実情に明るいことが大きな強みです。それゆえに、災害の被害を最小限に抑えるためには欠かすことのできない存在であり、「今の時代だからこそ必要」な存在です。

しかしながら、全国的に消防団員の数は減少傾向にあり、市消防団も同様のことが言え、地域の防災力の低下が危惧されています。

今後もこのコーナーでは、地域のヒーローを目指す消防団の活動や魅力をご紹介します。

燃やすことのできるごみ 出し方を守りましょう

問合せ 環境課ごみ減量係

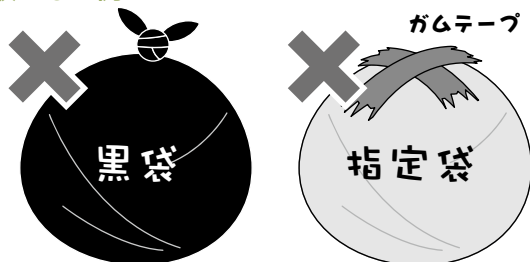
○必ず指定袋に入れてください

指定袋以外の袋に入ったものは収集しません。

○ガムテープを使わないでください

回収する際にガムテープが作業員の手に巻きつき、ごみ収集車に巻き込まれそうになり、危険です。作業員の安全確保のため、ごみ袋の口は絶対にガムテープで止めないでください。ガムテープで止めてあるごみ袋は収集しません。なお、ごみ袋の口はしっかりと縛ってください。

回収しない例



○まとめて出してください

ごみの収集作業の効率化や交通障害発生防止のために、ごみ袋は近所同士で一緒にかためて出してください。なお、5世帯程度のごみ袋が集められており、カラスや猫などに荒らされる被害が発生している場所には、市からカラス除けネットを配布しますので、お問い合わせください。

○分別してください

ペットボトルや缶、硬質プラスチックなどの資源となるごみを、燃やすことのできるごみとして出さないでください。資源ごみの入った袋は収集しません。

なお、スプレー缶やカセットボンベ、ライターなどを指定袋に入れて捨てることは、収集車両火災の原因となりますので絶対に止めてください。スプレー缶やカセットボンベはガス抜いて火の気のない屋外で穴を開け、ライターは使い切って資源となるごみとして収集日に出してください。